

2018年度 M汽船 寄附講座(公開講義)

第10回 海事経済論

～世界経済を担う愛媛の海運産業～

愛媛は、国際物流を担う造船業や海運業の集積地域です。この「海運王国」愛媛で、国際貿易を支える海運産業の実態と将来について理解を深めていただくことを目的に、M汽船寄附講座「海事経済論」を開講します。奮ってご参加ください。



開講期間

2018年9月26日(水) ▶ 2019年1月23日(水)

※毎週水曜日 12:30～14:00(3時限目)

場 所

松山大学 樋又キャンパス 2階 H2A教室

※駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

受講料

無料

定 員

100名(先着順)

主催:松山大学経済学部

協力:(一社)日本船主協会

問い合わせ先

松山大学教務部教務課

Tel.089-926-7137

E-mail:mu-kyomu@matsuyama-u.jp

※詳細は裏面をご参照ください。

講義日程 及び 受講申込書

講義日程

会場▶松山大学 樋又キャンパス2階 H2A教室

時間▶毎週水曜日3時限目12:30~14:00

回	講義日	講義テーマ	担当者
1	9/26(水)	造船業と国際海運業—産業連関分析の視点—	松山大学 経済学部教授 間宮 賢一
2	10/ 3(水)	外航海運の概要	一般社団法人日本船主協会 広報室長 佐藤 晃氏※
3	10/10(水)	日本の国際海運業	日本郵船株式会社 調査グループ長 山田 喜之氏※
4	10/17(水)	愛媛の国際海運業の発達と現状	株式会社愛媛銀行 船舶ファイナンス部副部長 岡山 昭一氏
5	10/24(水)	タンカー：エネルギーの主力「石油」の国際物流(その1) —原油輸送を中心に	太陽石油株式会社 国際営業部部長 船木 保宏氏
6	10/31(水)	タンカー：エネルギーの主力「石油」の国際物流(その2) —その多様性について	株式会社商船三井 油送船一部 油送船統括・ICT推進グループリーダー 森 雅士氏※
7	11/ 7(水)	LNG 船：「液化天然ガス」の国際物流	株式会社商船三井 エネルギー営業戦略部 調査・事業開発チームアシスタントマネージャー 青木 大輔氏※
8	11/14(水)	自動車専用船事業の歴史と今日の概況	川崎汽船株式会社 執行役員 自動車船事業部門担当 横山 信之氏※
9	11/21(水)	大型バルク・キャリア：「鉄鉱石・石炭・穀物」の貿易と国際物流	日本郵船株式会社 バルク・エネルギー輸送統括グループグループ長 中村 利氏※
10	11/28(水)	コンテナ船事業概論とこれからの展開	川崎汽船株式会社 コンテナ船事業グループ 業務管理チーム チーム長 小澤 良氏※
11	12/ 5(水)	造船業：世界の中の日本・愛媛の造船業	株式会社新来島とつく 船舶営業本部 新造船営業第2部副部長 兼 大西営業課長 松浦 直樹氏
12	12/12(水)	国際物流における総合商社	三井物産株式会社 船舶事業開発部長 豊永 建治氏
13	12/19(水)	松山港の利用促進について	愛媛県経済労働部 産業雇用局 産業政策課 主幹 森居 基修氏
14	1/ 9(水)	海運業とリスクマネジメント	東京海上日動火災保険株式会社 西日本船舶営業部部長 兼 今治支社長 朝来野 敦氏
15	1/23(水)	世界経済のグローバル化とアジア及び日本	松山大学 経営学部教授 上羽 博人 松山大学 経済学部教授 安田 俊一

○※の担当者については(一社)日本船主協会のご協力を得ています。

○ 講義テーマ及び担当者の変更等がある場合は、講義の中でお知らせします。

○ 講義へ15分以上遅刻された場合は入室できません。

申し込み方法

1

メールでの申し込み▶

題名に「海事経済論受講申込」、本文に受講申込書の内容を入力の上、右記のアドレスに送信

E-mail: mu-kyomu@matsuyama-u.jp

2

Faxでの申し込み▶

受講申込書を記入の上、右記の番号に送信

Fax.089-923-8920

受講申込書 (メール・Fax 共通)

2018年 月 日

(フリガナ) 氏 名	性別		男・女	年齢	歳
住 所	〒 -				
T E L	携帯電話				
E-mail	@				
勤務先等 (学校名)					

ご記入いただいた個人情報は、各種連絡・情報提供のために利用するほか、講座参加者のご意見を伺うために利用することがあります。